

## 「手紙の良さ」

3年 H.U

皆さんは最近、手紙を書いたという経験はありますか。春休みに部屋の片付けをしていたら私が幼稚園、小学校の時に友達と文通をしていた手紙が何十通も出てきました。読み返してみると可愛い便箋に幼い文字で当時の思い出が書かれていて、その時のことを考えてみるととても懐かしく、微笑ましくなりました。今ではすっかり友達と手紙を送り合うことも無くなってしまい寂しく感じます。手紙について調べてみると最近手紙を書いた人の割合は約2割のようです。私が手紙を書かなくなった理由として考えられるのは、私も友達もお互い中学に入り忙しくなったという点もありますが、一番大きな理由として考えられるのはメールやラインを含む SNS の普及だと思います。私は中学生からスマホを使用するようになったのですが、今現在もラインなどの SNS を利用しています。ラインを例に挙げてみると確かに利点は多く見られます。例えば気軽に人とのやりとりが出来るという点やグループでのトークは大人数で意見のやりとりが出来るのでとても便利で効率が良いと思います。その反面、決まった形の文字が画面上に写し出されるので少し面白みに欠ける点があるというのと、相手の気持ちがいまいち伝わってこないなどの欠点がある気がします。ある時母は、「子供の時は喧嘩しても携帯が無かったから、その日のうちは何て謝ろうか、相手に伝えようかじっくり考えてやっと思翌日に相手に思いを伝えるということをしていたけれど、今は携帯があるからその日のうちにメールで気軽に謝るようになっている」と言っていました。またそれは楽しいことがあった時も同じです。母が子どもの頃は、今日あった楽しかったことをその日は心に溜めておいて、翌日相手にたっぷり話すというのが日課でそれはとても充実した日々だったようです。最近はラインやメールですぐ相手に物事を伝えることができ、便利である反面、人間関係において相手の気持ちをじっくり考えるということが薄れていっているように感じます。そのようなことで手紙の良さについて考えてみました。

まず最初に思いついた手紙の利点は「気持ちが伝わること」だと思います。メールだと決まった文字だけの世界なので時には誤解を招き、喧嘩になることもあるようですが、手紙は同じ文字の世界なのに喧嘩とは聞いたことがありません。それは心を込めて書いているからだだと思います。確かに手紙を読み返してみると、相手の特徴的な字やちょっとした漢字のミスなども可愛らしく感じられました。また、シールや切手、便箋の絵柄は相手がどんな思いで選んでくれたのか、買ってくれたのかと考えることができ、とても気持ちが伝わり心が温まりました。やはり手紙は一つ一つの文字や便箋、いたる所に相手の気持ちが詰まっているのだなと思いました。

二つ目の利点は「いつまでも形に残す事が出来る」ということだと思います。メールだとどうしてもデータの関係や操作の間違いで相手とのやりとりを消してしまうことがあります。手紙だと自分自身が捨てない限り失くなることは無いと思いますし、いつまで経っても思い出として形に残す事が出来ると思います。

そして最後に挙げられるのは「相手のことを思える」ことだと思います。手紙を書いている時間は相手のことをじっくりと考えることができ、メールとは一味違う所があると思います。手紙には SNS では伝えられない特別な温かみがあります。最近では SNS に頼ってばかりの私ですが、この感話を書いたことを機会に、昔文通していた友達に手紙を送ってみようと思います。